

2013 April

発行所: 〒425-0062 静岡県焼津市中根新田1157 TEL054-624-1555 発行人: 塚本 大



【増刊号】 静岡県議会議員 県政報告

大と大 つかもと大

Tsukamoto Dai

【交通基盤部長答弁】 当然、地域の声を聞くことは大切であると思います。県と致しましては、この会議に必要な情報を提供するとともに、焼津市長も参画し、地元の見解が発信できるよう強く働きかけてまいります。

(3) 農林水産業政策について

① 食料自給率の向上

② 学校給食における

地産地消の推進

【質問要旨】 学校給食における地産地消の更なる推進について伺う。

【経済産業部長答弁】

現在、各市町教育委員会におきましては、学校や生産者、納業者、関係機関で、地場産物の導入を推進するための協議会を設置するなどの取り組みを進めております。

今後は、県立学校に対しましては、納入業者への地場産物の積極的な活用の依頼や、発注書に県内産食材の優先的な納入の明記について指導するとともに、市町教育委員会に対しましては、栄養教諭等の研修会で地場産物の活用率が高い調理場等の取り組みを紹介し、計画的・継続的な活用について指導するなど、学校給食にお

県議会傍聴(バスツアー)に参加された皆様にお礼の挨拶をしている様子



る地産地消を一層推進してまいります。

(4) 県道島田吉田線

はばたき橋について

【質問要旨】

はばたき橋の開通時期の前倒しに向けた意気込みと見通しについて伺う。

【交通基盤部長答弁】

はばたき橋の開通につきましては、本年8月に前倒しして、工事を全面的に展開しているところであり、今後とも一層の工期短縮に努め、一日も早い開通を目指してまいります。

(5) 子育て世帯への

経済的支援について

【質問要旨】

県における子育て世帯への経済的支援について、一層の取り組みが期待される。そこで、今後どのように対応していくのか伺う。

【健康福祉部長答弁】

県では、児童手当や子ども医療費等の金銭的給付を行っているほか、修学に関しましては、公立高校の授業料の無償化や、私立高校生への就学支援金の支給等、取り組んでいるところであります。

特に、生活に困難を抱えている、ひとり親家庭に対しましては、児童扶養手当の支給や、母子家庭等医療費助成などによる経済的な支援に加えまして、本年度新たに在宅就業を拡大するためのセンターを設置し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、来年度は、病児・病後児保育や、休日保育などの利用料の減免への助成制度を創設してまいります。加えて、子育て世帯の住宅リフォーム工事に対して助成する制度を設け、家族構成の変化等に合わせた居住環境の改善を図ってまいります。

(6) 共生・共育に基づく特別支援学校高等部分校について

【質問要旨】

平成25年4月に焼津水産高等学校内に開校する、藤枝特別支援学校焼津分校の特色と、期待される共生・共育の効果について伺う。

【教育長答弁】

藤枝特別支援学校焼津分校は、知的障害が比較的軽度な高等部生徒を対象としており、焼津水産高等学校の持つ専門的な教育環境と、そこで学ぶ生徒との交流は、「働く人となる」ことを目指す分校の生徒にとつて、大変有効な教育環境であると考えております。

また、水産業を基幹産業と致します焼津市という地域を教育の場と考え、事業所の方々の働く姿に触れ、協力を得ながら、実際の仕事場で職場実習を行うなど、「働く人となる」ための力を高めたいと考えています。

(7) 県内スポーツ選手の

育成について

【質問要旨】

次世代を担う県内スポーツ選手

の育成について、どのような取り組みをしていくのか伺う。

【教育長答弁】

本年度は、ロンドンオリンピックに出場した陸上競技の飯塚翔太選手や競泳の松本弥生選手などを講師に招き、これまで延べ34回実施し、約4000人の生徒が指導を受けております。

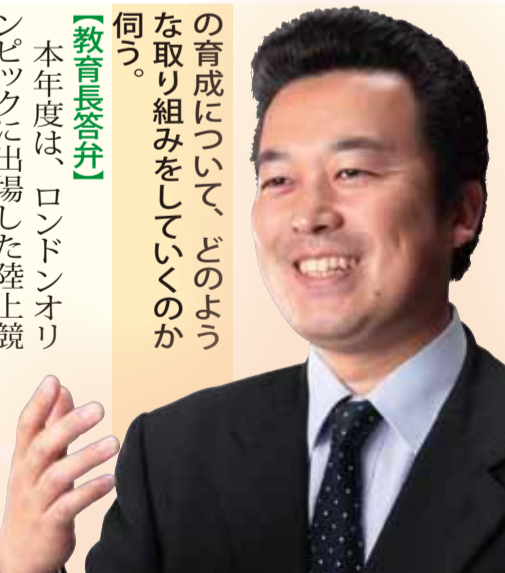
今後は、派遣回数や種目の拡大を図るなど、事業を一層充実させ、将来、国際舞台で活躍し、県民の誇りとなる選手を育て、さらに、その選手が次世代の子どもたちの目標となる好循環を生み出すよう努めてまいります。

(8) 犯罪抑止対策への

取り組みについて

【再質問要旨】

私の地元焼津署、藤枝署での取り組みを伺う。



静岡県議会議員 つかもと大 dai 事務所のご案内 〒425-0062 焼津市中根新田1157 TEL 054-624-1555 FAX 054-624-1333 E-mail tsukamoto-dai@almond.ocn.ne.jp http://tsukamoto-dai.com

平成25年3月1日 静岡新聞夕刊一面に掲載!!

焼津漁港をモデルに 国が津波対策検討会 知事答弁 川勝立太知事は1日、塚本大氏(自民)と対談し、津波対策について、焼津漁港をモデルとして、全国的に位置付けたいと意欲を示している。焼津漁港を全国的にモデルとして位置付けたいと意欲を示している。焼津漁港を全国的にモデルとして位置付けたいと意欲を示している。

【再質問要旨】 私の地元焼津署、藤枝署での取り組みを伺う。 次は藤枝警察署であります。重点犯罪は、駅前交番、高洲交番管内のショッピングセンターの駐車場・駐輪場の車上ねらい、自転車盗と致しました。今後の対策と致しましては、施設管理者に対する防犯カメラ設置等の要請を、強く要請してまいります。合わせて、毎月第3金曜日の青パトの日のパトロールを強化し、県下で最も活発な地域安全推進員による注意喚起方法を実施してまいります。

# 大ジェスト DAI通信

【増刊号】



Tsukamoto Dai Digest

## 2月定例会本会議

### 焼津漁港の水門整備等 8項目の一般質問

#### 自民改革会議

〈一般質問〉 塚本 大

本会議において、以下の内容を一般質問致しました。

- (1) 水産業の振興について
- ① 漁業者、加工業者への技術支援
- ② 絶滅危惧種ニホンウナギの対策
- (2) 焼津漁港の水門整備について
- (3) 農林水産業政策について
- ① 食料自給率の向上
- ② 学校給食における地産地消の推進
- (4) 県道島田吉田線はばたき橋について
- (5) 子育て世帯への経済的支援について
- (6) 共生・共育に基づく特別支援学校高等部分校について
- (7) 県内スポーツ選手の育成について
- (8) 犯罪抑止対策への取り組みについて

※詳しい内容は、ホームページに掲載してありますのでご覧ください。

#### 答弁内容の一部紹介

##### ① 漁業者、加工業者への技術支援

本県水産業の振興を図るため、どのように技術の開発や普及を進めるのか伺う。

【経済産業部長答弁】

水産業への技術支援については、水産技術研究所が中心となり、積極的に取り組んでおります。漁業者の操業コスト削減については、効率的に漁場を探索するシステムの研究を進め、人工衛星による海水温などのデータや最新の漁獲状況を基に、カツオやシラスなどの漁場予測図を作成し、漁業者に提供することにより、大きな負担となっている燃料コストの削減を図ってまいります。

また、漁獲量の変動が大きく、近年減少傾向にあるサクラエビにつきましても、現存するサクラエビの年齢別個体数を把握する方法を開発し、持続可能な最大の漁獲量を推定して漁業者に提示することにより、資源管理に配慮した漁業の継続を支援してまいります。

さらに、未利用資源の有効活用を図るため、カツオの加工時に発生する残さや、小さいゴマサバなどを食品素材として活用する技術の開発を進め、残さで作ったカツオ角煮や、サバ入りロッケを商品化するなど、漁業者や水産加工業者の皆様の収益力の向上に努めてまいります。

県と致しましては、今後とも漁業協同組合や水産加工業協同組合など、関係団体のニーズを十分に把握しながら、水産関連の技術開

発やその普及に積極的に取り組んでまいります。

##### 【再質問要旨】

県が開発した未利用資源を使った加工品が、実際に販売されているのか。また、更なる消費拡大のための県の対策を伺う。

【経済産業部長答弁】

開発されたものにつきまして、できるだけ販路を拡大、あるいはそれが実際に食べて頂けるよう、県をあげて、いろいろな商談会、あるいは流通業者との仲立ちを積極的に進めてまいりたいと考えております。

##### ② 絶滅危惧種ニホンウナギの対策

【質問要旨】

ニホンウナギの減少は、全国的な問題であるが、本県も率先して対策を講じる必要があると考える。県当局の取り組みについて伺う。

【経済産業部長答弁】

天然のシラスウナギに依存しない養殖方法の確立に向けまして、これまで、国の水産総合研究センターと県水産技術研究所などが一体となりまして、研究を進めまして結果、研究ベースでは、平成22年に世界で初めて、完全養殖に成功しました。今後、その実用化に向け、国の水産総合研究センターを中心とした、シラスウナギの大量生産技術の研究に、本県も積極的に参画してまいります。

##### (2) 焼津漁港の水門整備について

【質問要旨】

津波を防ぐ点で最も事業効果の高い、水門の整備に一刻も早く着手すべきと考えるが、今後の水門整備に向けての県の取り組みについて伺う。

【知事答弁】

国の方では、全国有数の水揚量を誇る焼津漁港を全国のモデルと

#### 120人を超える人達で傍聴席は賑わいました



して、粘り強い防波堤や新形式の水門などの津波減災効果を確認し、漁港の津波対策のあり方について検討するため、3月中旬に有識者検討会を設置することとなりました。歓迎しております。

県と致しましては、市とともに国と連携し、水門整備を含めた焼津漁港の総合的な津波対策の検討を進め、災害に強く安全な漁港整備に努めてまいります。

【再質問要旨】

国において、焼津漁港がモデルとなつて、有識者の検討会議が行われていくということだが、地元焼津市の意向が反映されることが大変重要である。地元の代表として、焼津市長を参加させることはできないか、状況を聞かせて頂きたい。